

# 議会だより



## Contents

- 議長・副議長就任あいさつ ..... 2
- 第19期 議会構成表 ..... 3
- 令和7年度3月補正予算 ..... 4
- 令和8年度一般会計 当初予算 ..... 4~5
- 2月臨時会・3月定例会議案一覧  
議案賛否・討論概要 ..... 6~7
- 常任委員会の動き ..... 8
- 一般質問 ..... 9~15
- 第19期議員紹介／編集後記 ..... 16



## 議長あいさつ

竹仲良廣

このたび、令和8年3月美浜町定例議会におきまして、美浜町議会議長に就任することになりました竹仲良廣でございます。身に余る光栄と同時に、職責の重大さを痛感しています。議長として全力を傾け、公正かつ円滑な議会運営に取り組んでまいります。

さて、3月8日投票の町議会議員選挙におきまして、30代、40代、50代、60代、70代の幅広い世代から議員が当選され、さらに女性議員も3名となり、美浜町ではこれまでにない議員構成となりました。

本町におきましても少子高齢化による人口減少、物価高騰の経済への影響、インフラの老朽化や防災対策など多岐にわたる問題が山積しており、それに対応すべく、各種の施策を着実に議論し、進めていく必要があります。また、新庄～高島間道路整備、原子力発電所使用済燃料乾式貯蔵施設やリプレースに向けた取り組みなど美浜町特有の課題も抱えております。

美浜町は多くの課題を抱えておりますが、各世代の町民の代表が多種多様のご意見が出され、いろんな角度からの発言により新たな方向性が生まれるものと期待してまいります。行政と多くの建設的な議論を重ね、活性化される議会となり、英知を結集して美浜町の課題解決に向け議員各位と共に頑張ることをお約束し、就任のあいさつに代えさせていただきます。



## 副議長あいさつ

藤田憲弘

このたび、副議長に就任いたしました藤田憲弘でございます。大変重い責任を感じるとともに、美浜町議会のさらなる発展に向けて全力を尽くす決意を新たにしております。副議長として、議長を補佐し、公正で円滑な議会運営を支えるとともに、議会がその役割を十分に果たせるよう努めてまいります。

議会は、町民の皆さまの声を受け止め、町政へ反映させる重要な機関であり、行政に対する監視と政策提言の役割を担っています。副議長としても、議長を支えながら、議会全体の機能がより高まり、町民の皆さまから信頼される議会となるよう取り組んでいく所存です。

また、議会は町民の皆さまに開かれた存在でなければなりません。議会活動をよりわかりやすく伝え、対話を大切にしながら、町民の思いを丁寧に汲み取ることが、これからはますます重要になると考えております。

人口減少や防災、地域活性化など、町が抱える課題は多岐にわたりますが、そうした課題に真摯に向き合い、「開かれた町議会」の実現に向けて努力を重ねてまいります。今後とも、皆さまのご理解とご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

# 第19期 美浜町議会構成表

|     |       |                |
|-----|-------|----------------|
| 議長  | 竹仲 良廣 | (就任) 令和8年3月16日 |
| 副議長 | 藤田 憲弘 | (就任) 令和8年3月16日 |

(令和8年3月16日現在)

| 議席番号 | 氏名     | 住所  | 常任委員会      |            |             | 議会運営委員会 | 特別委員会         |            |                          | 組合議会              |                |                |                | 福井県後期高齢者医療広域連合 |
|------|--------|-----|------------|------------|-------------|---------|---------------|------------|--------------------------|-------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
|      |        |     | 総務文教<br>7人 | 産業厚生<br>6人 | 予算決算<br>13人 |         | 原子力発電所<br>13人 | 議会広報<br>7人 | 美浜・高島広域避難・連携道路早期実現<br>6人 | 美浜・三方環境衛生組合<br>6人 | 敦賀美方消防組合<br>4人 | 嶺南広域行政組合<br>2人 | 公立小浜病院組合<br>3人 |                |
| 1    | 足立 美希  | 新庄  |            | ●          | ●           | ●       | ●             |            | ○                        |                   | ●              |                |                |                |
| 2    | 福田 新八  | 郷市  |            | ●          | ●           |         | ●             | ○          | ●                        | ●                 |                |                |                |                |
| 3    | 松下 哲也  | 久々子 | ●          |            | ●           | ●       | ○             |            | ●                        |                   | ●              |                |                |                |
| 4    | 川畑 恵美  | 興道寺 | ●          |            | ●           |         | ●             | ◎          |                          |                   | ●              |                |                |                |
| 5    | 田辺 文宏  | 興道寺 | ●          |            | ●           |         | ●             |            | ●                        |                   |                |                | ◎              |                |
| 6    | 上村 康郎  | 河原市 | ○          |            | ●           | ○       | ●             | ●          | ●                        |                   |                |                | ○              |                |
| 7    | 藤田 憲弘  | 佐田  |            | ●          | ◎           |         | ●             | ●          | ◎                        |                   |                | ◎              |                |                |
| 8    | 町野 久幸  | 佐田  |            | ○          | ●           | ●       | ●             | ●          |                          | ●                 |                |                |                |                |
| 9    | 幸丈 佑馬  | 丹生  | ◎          |            | ○           | ●       | ●             | ●          |                          | ●                 |                |                |                |                |
| 10   | 兼田 和雄  | 佐柿  | ●          |            | ●           | ◎       | ●             | ●          |                          |                   | ◎              |                |                |                |
| 11   | 中牟田 春子 | 大藪  | ●          |            | ●           |         | ●             |            |                          | ●                 |                |                |                |                |
| 12   | 梅津 隆久  | 菅浜  |            | ◎          | ●           |         | ◎             |            |                          |                   |                |                | ●              |                |
| 13   | 崎元 良栄  | 南市  |            | ●          | ●           |         | ●             |            |                          | ●                 |                |                |                |                |
| 14   | 竹仲 良廣  | 南市  |            |            |             |         |               |            |                          | ◎                 |                | ●              |                | ●              |

※常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会

※敦賀美方消防組合議会

※美浜・三方環境衛生組合

※公立小浜病院組合

※嶺南広域行政組合

●…同組合副議長

◎…委員長

◎…代表者

◎…同組合議長

◎…常任委員

◎…代表者

○…副委員長

○…監査委員

●…委員

●…委員

●…委員

●…委員

●…委員

◆第19期議員任期: 令和8年3月15日～令和12年3月14日

◆常任委員会委員 及び 議会運営委員会委員 選任……令和8年3月16日

◆特別委員会委員 選任……令和8年3月16日

- ▶ **道路維持事業** 1億238万1千円
- ▶ **町道川東42号線道路改良事業** 2572万9千円
- ▶ **デイサービスセンター改修事業** 960万円
- ▶ **美浜斎苑(火葬場)整備事業** 4175万4千円
- ▶ **勤労者生活安定資金貸付金** 2000万円
- ▶ **有害鳥獣対策事業** 2359万9千円



美浜斎苑 待合室

## 観光美浜発信!!



イベントクルーズ



光の波プロジェクトin水晶浜

- ▶ **インバウンド推進事業** 665万9千円
- ▶ **レイクセンター運営事業** 6750万8千円
- ▶ **若狭みはま魅力発信事業** 3480万3千円
- ▶ **若狭みはま魅力アップ事業** 2166万6千円
- ▶ **観光おもてなし推進事業** 482万8千円

## 令和7年度3月補正予算 13億2311万5千円

- ▶ **路線バス運行維持事業** 2133万6千円
- ▶ **地域防災緊急整備事業** 1537万8千円



- ▶ **除雪作業業務委託料** 4700万円
- ▶ **中山間地域総合整備事業** 805万円

- ▶ **まちづくり基金積立金** 4億5685万9千円
- ▶ **ふるさと応援基金積立金** 1億6100万8千円
- ▶ **にぎわい創出基金積立金** 9519万円
- ▶ **若者定住化対策基金積立金** 80万2千円
- ▶ **未来志向の人づくり応援基金積立金** 113万円
- ▶ **わかさ美浜町森づくり推進事業**  
森林環境譲与基金積立金 1406万2千円
- ▶ **災害に強いまちづくり基金積立金**  
避難施設等強靱化事業補助金 106万7千円

- ▶ **廃棄物処理広域化事業負担金** 8億5631万1千円

# 令和8年 一般会計 当初予算

(単位：千円)

## 88億597万8千円

令和8年度歳入予算の内、町税は40億8849万3千円で全体の46.4%を占めています。地方交付税については普通交付税が令和7年度に続き不交付となる見込みのため特別交付税で3000万円を見込んでいます。

### 町民の生活を守る 予算の使われ方チェック

| 一般会計 |                        | 8,805,978  |
|------|------------------------|------------|
| 特別会計 | 診療所事業特別会計              | 130,721    |
|      | 国民健康保険事業特別会計           | 1,107,150  |
|      | 後期高齢者医療事業特別会計          | 198,683    |
|      | 介護保険事業特別会計（介護保険事業勘定）   | 1,131,981  |
|      | 介護保険事業特別会計（介護サービス事業勘定） | 9,630      |
|      | 産業団地事業特別会計             | 2,322      |
|      | 住宅団地事業特別会計             | 8,511      |
|      | 特別会計 小計                | 2,588,998  |
|      | 合計                     | 11,394,976 |

## 「チョイソコみはま」本格運用(4月より)

▶公共交通運行事業 6770万5千円

デマンド交通「美浜ブルーライン」運行(福鉄バス菅浜線代替交通)



実証  
運行の  
結果

- ・年間利用者の増加 実証運行前のコミュニティバス8505人→令和7年度18564人(見込み)
- ・「チョイソコみはま」会員登録者の増加 令和5年6月(実証運行開始月)322人→令和7年12月1125人
- ・評価ポイント…免許返納を早められた/自宅前まで来てくれて便利/自分の時間に合った利用ができる



「はあとぴあ」こどもあそび場イメージ図

### ▶こどものあそび場づくり事業

3億8318万4千円

美浜町健康福祉センター「はあとぴあ」に屋内遊び場を新たに整備し、町産材の木材を利用し、多世代が共同で利用できる交流の場を作ります。

### ▶ふるさと美浜元気フォーラム推進事業

727万1千円

平成30年から美浜町内の小学3年生から6年生までの子ども達は「地域愛」を深める学習の実践として、地域に出向き町の良さを探求して問題解決のアイデアを発信しています。

### ▶みはまシナプスプロジェクト事業

5828万9千円

### ▶消防施設整備事業

1015万8千円

- 内訳
- ・消防器具置場新築工事補助 910万8千円
  - ・消防団員待機施設空調設備設置費補助 105万円

### ▶一般経費

41万6千円

- ドローンを活用した運用の検証
- ・災害発生時の初動対応や復旧活動
  - ・平時(イベント等)の中継映像撮影



### ▶総合運動公園施設改修設計業務 2344万3千円

- (令和8年度予定)
- 総合体育館空調設備更新工事実施設計業務
  - 総合体育館アリーナ以外LED照明器具更新工事実施設計業務
  - 総合体育館アリーナ遮光フィルム設置工事実施設計業務

# 令和8年 第1回美浜町議会臨時会 議案 第2回美浜町議会定例会

令和8年第1回美浜町議会臨時会期間：令和8年2月6日～2月17日

| 議案番号   | 件名  | 委員会付託 | 議決結果 |
|--------|---|-------|------|
| 議案第1号  | 専決処分承認を求めることについて（令和7年度美浜町一般会計補正予算（第5号））<br>衆議院の解散に伴い、衆議院議員総選挙の執行経費1103万2千円を増額し、歳入歳出予算総額を119億9659万1千円とする専決処分の承認。 | 予算決算  | 可決   |
| 議案第2号  | 令和8年度美浜町一般会計予算<br>歳入歳出予算総額を88億597万8千円と定める。  |       | 可決   |
| 議案第3号  | 令和8年度美浜町診療所事業特別会計予算<br>歳入歳出予算総額を1億3072万1千円と定める。   |       | 可決   |
| 議案第4号  | 令和8年度美浜町国民健康保険事業特別会計予算<br>歳入歳出予算総額を11億715万円と定める。  |       | 可決   |
| 議案第5号  | 令和8年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計予算<br>歳入歳出予算総額を1億9868万3千円と定める。   |       | 可決   |
| 議案第6号  | 令和8年度美浜町介護保険事業特別会計予算<br>歳入歳出予算総額を11億4161万1千円と定める。   |       | 可決   |
| 議案第7号  | 令和8年度美浜町産業団地事業特別会計予算<br>歳入歳出予算総額を232万2千円と定める。   |       | 可決   |
| 議案第8号  | 令和8年度美浜町住宅団地事業特別会計予算<br>歳入歳出予算総額を851万1千円と定める。   |       | 可決   |
| 議案第9号  | 令和8年度美浜町上水道事業会計予算<br>予算総額を11億617万円と定める。   |       | 可決   |
| 議案第10号 | 令和8年度美浜町下水道事業会計予算<br>予算総額を10億1032万5千円と定める   |       | 可決   |
| 議案第11号 | 美浜町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について<br>医療保険分の資産割の廃止等に伴う、国民健康保険税の税率改正。   | —     | 可決   |
| 議案第12号 | 美浜町こどものあそび場整備事業屋内あそび場遊具等設計・整備工事請負変更契約について<br>きいばすで計画している遊び場の変更や遊具の追加等に伴う、工事請負変更契約。                              | —     | 可決   |
| 議案第13号 | 財産の取得について<br>耳地区に新たな分譲住宅地を整備するための土地の購入。   | —     | 可決   |
| 議案第14号 | 第六次美浜町総合振興計画基本構想及び基本計画の策定について<br>17年度までの今後10年間の町の将来像やまちづくりの方向性を示す第六次美浜町総合振興計画の策定。                               | —     | 可決   |

※略称 < 予算決算 > … 予算決算常任委員会

令和8年第2回美浜町議会定例会期間：令和8年3月16日～3月27日

| 議案番号   | 件名  | 委員会付託 | 議決結果 |
|--------|---|-------|------|
| 議案第15号 | 美浜町こどものあそび場整備事業美浜町エネルギー環境教育体験館体育館等改修工事（建築工事）請負契約について<br>きいばすに屋内あそび場を整備するにあたり、体育館等を改修する工事請負契約。 | —     | 可決   |
| 議案第16号 | 令和7年度美浜町一般会計補正予算（第6号）<br>13億2311万5千円増額し、歳入歳出予算総額を133億1970万6千円とする。                             | 予算決算  | 可決   |
| 議案第17号 | 令和7年度美浜町診療所事業特別会計補正予算（第3号）<br>765万7千円減額し、歳入歳出予算総額を1億1580万円とする。                                |       | 可決   |
| 議案第18号 | 令和7年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算（第5号）<br>511万9千円減額し、歳入歳出予算総額を11億9310万7千円とする。                            |       | 可決   |
| 議案第19号 | 令和7年度美浜町産業団地事業特別会計補正予算（第1号）<br>3億4207万9千円増額し、歳入歳出予算総額を3億4444万4千円とする。                          |       | 可決   |
| 議案第20号 | 令和7年度美浜町住宅団地事業特別会計補正予算（第3号）<br>770万3千円減額し、予算総額を1億9748万1千円とする。                                 |       | 可決   |
| 議案第21号 | 令和7年度美浜町上水道事業会計補正予算（第3号）<br>174万4千円増額し、予算総額を9億1849万1千円とする。                                    |       | 可決   |
| 議案第22号 | 令和7年度美浜町下水道事業会計補正予算（第3号）<br>1961万4千円減額し、予算総額を13億4378万9千円とする。                                  |       | 可決   |
| 議案第23号 | 美浜町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について<br>人事院勧告を踏まえた美浜町一般職の給与等に関する関係規定の改正。                       | 総務文教  | 可決   |
| 議案第24号 | 美浜町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について<br>人事院勧告を踏まえた美浜町会計年度任用職員の給与等に関する関係規定の改正。          |       | 可決   |

| 議案番号   | 件名   | 委員会付託 | 議決結果 |
|--------|--|-------|------|
| 議案第25号 | 情報通信技術の効果的な活用のための規制の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について<br>書面揭示などを主とした諸規制の見直しに係る関係規定の改正。              | 総務文教  | 可決   |
| 議案第26号 | 美浜町犯罪被害者等支援条例の制定について<br>犯罪被害者等基本法に基づき、町民が安心して暮らすことができる地域社会実現のための条例を定める。                      |       | 可決   |
| 議案第27号 | 未来志向のづくり応援基金条例の制定について<br>次世代の人材育成に必要な資金を積み立てるための条例を定める。                                      |       | 可決   |
| 議案第28号 | 美浜町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について<br>子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律の施行に伴う本町における職員配置や、町の認定基準を定める。 | 産業厚生  | 可決   |
| 議案第29号 | 美浜町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について<br>子ども・子育て支援法の規定に基づき、本町における運営の適格性を確認するために必要な基準を定める      |       | 可決   |
| 議案第30号 | 田中健記念ふるさと美浜「未来の懸け橋」基金条例を廃止する条例の制定について<br>田中健記念ふるさと美浜「未来の懸け橋」基金の処分に伴う関係条例の廃止。                 | 総務文教  | 可決   |
| 議案第31号 | 財産の処分について<br>田中紙管(株)が若狭美浜インター産業団地に進出することに伴う土地売買契約。   | 産業厚生  | 可決   |
| 議案第32号 | 美浜町デイサービスセンターの指定管理者の指定について<br>指定管理者に「美浜町社会福祉協議会」を指定。   |       | 可決   |
| 同意第1号  | 副町長の選任につき同意を求めることについて<br>山田将之氏を選任する。   | —     | 可決   |
| 同意第2号  | 美浜町監査委員の選任につき同意を求めることについて<br>中島正人氏を選任する。   | —     | 可決   |
| 同意第3号  | 美浜町監査委員の選任につき同意を求めることについて<br>兼田和雄氏を選任する。   | —     | 可決   |
| 同意第4号  | 美浜町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて<br>鳥羽学氏を選任する。   | —     | 可決   |
| 諮問第1号  | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて<br>川崎宏和氏を推薦する。  | —     | 可決   |
| 諮問第2号  | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて<br>濱野利彦氏を推薦する。  | —     | 可決   |
| 発議第1号  | 原子力発電所特別委員会の設置について<br>原子力発電所の安全性の確保、その他原子力に関する諸施策について調査研究を行うために設置する。                         | —     | 可決   |
| 発議第2号  | 議会広報特別委員会の設置について<br>議会広報誌の作成及び議会広報活動に関する調査・研究を行うために設置する。                                     | —     | 可決   |
| 発議第3号  | 美浜・高島広域避難・連携道路早期実現特別委員会の設置について<br>美浜・高島避難・連携道路の早期整備実現のための活動をはじめ、その他調査研究を行うために設置する。           | —     | 可決   |

※略称 <予算決算>…予算決算常任委員会 <総務文教>…総務文教常任委員会 <産業厚生>…産業厚生常任委員会

## 賛否が分かれた議案 (第18期 議会)

議席順に掲載 (○賛成・×反対・一欠席・□退席) し、反対または退席等があった議案だけ載せています。  
※議長 (川畑忠之) は採決に加わりません。

| 議案番号   | 幸丈 | 兼田 | 中牟田 | 上道 | 高橋 | 梅津 | 河本 | 辻井 | 松下 | 嶋元 | 山口 | 藤本 | 竹仲 |
|--------|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 議案第2号  | ○  | ○  | ○   | ×  | ×  | ○  | ×  | ○  | ×  | ○  | ○  | -  | ○  |
| 議案第14号 | ○  | ○  | ○   | ○  | ×  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | -  | ○  |

### 討論概要

#### 議案第2号議案

#### 令和8年度美浜町一般会計予算

#### ● 反対討論

これまで反対してきたエネルギー環境教育体験館「きいばす」の運営事業、健康楽膳拠点施設「こるば」の運営事業、美浜町スマートコンパクトシティ魅力創造拠点化事業「道の駅に係る事業」の予算が計上されている。

また、レイクセンター運営事業に関しては、町営によるものです。施設使用料などの収入で、施設運営の経費を賄う構成にはなっており、様々な事業項目で公的資金を使つて、レイクセンターの施設運営やPRを行っている状態では、公的資金の投入がなければ民間の運営では赤字になる。そもそも典型的な箱物となり、税金の無駄遣いと反対してきましたが、町民に損害を与え、さらに税金を食いつぶすような、レイクセンターは不要である。

今後、公的資金の投入を行わずに、黒字化できるような見直しもなく、民間企業の参入も望めない。町民の血税を無駄に浪費する箱物は、今すぐやめるべきだと考えるので、本議案を認めることはできない。

(河本議員)

# 常任委員会の動き

3月定例会では、予算決算常任委員会には議案7件、総務文教常任委員会に議案6件、産業厚生常任委員会の4件、計17議案が各委員会に付託され、それぞれの委員会で詳細を審査し、委員会採択を行いました。委員会での主な質疑と答弁を記載しました。

詳細な内容は議会ホームページをご覧ください

<https://www.town.fukui-mihama.lg.jp/site/town-council/>



## 予算決算常任委員会

### 議案第16号

#### 令和7年度美浜町一般会計補正

#### 予算(第6号)

**問** ガバメントクラウド使用料3000万円減額の原因は何か。

**回答** 当初は、国が令和7年度末までにシステムを整備する予定であったが、システムエラー等の問題が多発し、標準化システムへの移行が遅れているため、使用料を減額する。

**問** 敬老会を開催した団体数と記念品を配布した団体数の実績はどのようになっているのか。

**回答** 敬老会の開催が20団体、記念品の配布が9団体となっている。

**問** 廃棄物処理広域化事業8億5631万1千円は、当初予算からの増額補正なのか。

### 議案第19号

#### 令和7年度美浜町産業団地事業

#### 特別会計補正予算(第1号)

**回答** 新清掃センターの建設費用の総額を工事の進捗状況に応じて、年度ごとに負担金が確定した時点で予算計上している。

**問** 企業からの土地売買の入金時期はいつになるのか。

**回答** 財産処分の議決により本契約となるため、その後請求する事となるが、年度の収納期限である5月末までには入金となる予定である。

## 総務文教常任委員会

### 議案第24号

美浜町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**問** 会計年度任用職員は単年度の雇用であるが、ある程度の年齢になると体力的に辛くなると思うが、定年制度のように一定の年齢で任用しない考えはあるのか。

**回答** 年齢の制限は設けていないが、職種によっては体力的にも技術面でも難しい場合があるため、応募者との面接等を通じて任用を考えたい。

### 議案第27号

#### 未来志向の人づくり応援基金

**問** 財源は寄付金やその他の収入によるとしているが、目標額はいくらなのか。

**回答** 基金は、寄付者とともに事業を作り上げる共創型のガバメントクラウドファンディングとして募集した寄付金を積むものであり、未来志向の人づくりとして事業を進めている放課後教室センターや学びコミュニティkaiの運営を見据え2000万円を目標としている。その目標を踏まえ、今後周知等に力を入れる考えである。

## 産業厚生常任委員会

### 議案第28号

美浜町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

**問** 乳児と特定乳児の違い、また保育の職員を増やさずに実施するには

たつての現場の意見把握は。

**回答** 乳児は生後6か月から3歳までを指し、特定乳児は法令上の区分で大きな違いはない。既存施設の空き枠を活用し現行体制で対応可能であり、3園の園長と協議し受け入れ体制を整えている。

**問** 事業実施場所が限定されている理由と利用料減免の対象は。

**回答** 0歳児の受け入れ体制や職員配置を踏まえ、せせらぎ保育園とみずうみ保育園で実施する。減免は生活保護世帯や住民税非課税世帯を想定している。

### 議案第29号

美浜町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

**問** 正当な理由のないサービス提供拒否の禁止とは。

**回答** 利用申込みがあった場合、正当な理由がない限りサービス提供を拒否できない規定である。

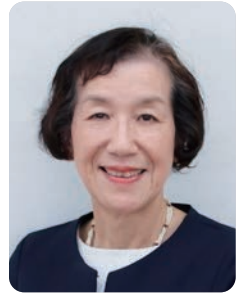
### 議案第31号

財産の処分について

**問** 企業誘致に伴う補助金や町内事業者の活用、雇用の見込みは。

**回答** 補助は上限2億円の見込み。町内事業者の活用は協力要請を行っており、下請として関わる事例がある。雇用は年間4〜5人程度を予定しているが、町内雇用の確保が課題である。

# あなたの声を町政に 一般質問



なかむら たはるこ 議員  
中牟田 春子

**①子どもが安心して、  
生活できる環境  
づくりについて**

**②関係機関との連携や専  
門職員の配置、研修体  
制の充実などにより支  
援の質の向上に努める。**

## 問

子どもや家庭をめぐる問題が複雑化・多様化しつつある中、児童虐待の未然防止・早期発見を図ることの必要性や、また、子育てと就業の両立が難しいひとり親家庭を支える体制づくりが必要と考えます。

児童虐待防止の強化を掲げ、関係機関との連携や要支援家庭への支援強化を進めています。現時点での課題と連携体制の具体的な強化策をどのように考えられているのか伺います。

## 町長

子どもたちが安心して健やかに成長できる環境を整えることは、ひいては地域社会の安定と発展に寄与するものと理解しており、大切な視点であると認識しています。こうした認識の下、教育環境の充実やきめ細やかな子育て支援、こどもたちの人権や安全に配慮した地域社会づくりなど、様々な観点から必要な施策に取り組んでいるところです。

また、行政と地域が力を合わせ、子どもたちを見守り、健やかに育んでいく社会環境を整えていくことは、思いやりの心溢れる町づくり基盤の醸成に繋がると考えています。

## こども 未来課長

児童虐待防止や要支援家庭への支援につきましては、町ではこれまでから、地域の福祉関係機関や小中学校、保育園と密接に連携し、要保護児童対策地域協議会を中心とした情報共有体制の構築、定期的な連絡会議の開催、家庭児童相談員による相談支援の充実などを進めてまいりました。

また、町では、困窮世帯を含む幅広い相談に対応する「福祉総合相談室」を健康福祉課内に設置し、福祉的な支援窓口として相談体制を充実させ、家庭に寄り添ったサポートを提供しています。

しかし、関係機関からの相談数の増加や、精神疾患を抱える妊産婦の増加などから、虐待リスクの高い家庭や支援を必要とする家庭が潜在的に存在していること、その対応のための人員確保についてが課題としてあげられます。課題解消のため、令和7年度には、「こども家庭センター」

をこども未来課内に設置し、妊娠期から支援を開始、母子保健との連携を強化することで早期介入を可能としました。

今後も、関係機関との連携や専門職員の配置、研修体制の充実などにより支援の質の向上に努め、子育て家庭それぞれの状況に応じた柔軟な対応が可能となるように取り組んでまいります。

## 問

ひとり親家庭や、家庭ごとの経済状況の違いは、子どもの学習環境にも影響が及びやすく、学習支援や習い事の機会が十分に確保できないなど、子どもにとって必要な学びにつながりにくい状況が生じることが懸念されます。子どもの成長や、将来の選択肢が家庭の環境によって左右されてしまうことは、見過ごしできない課題であると考えます。

## こども 未来課長

ひとり親家庭や家庭の経済状況による学習機会の格差は、重要な課題と認識しており、町では、全ての子どもが安心して学べる環境を充実するため、経済的支援や学習支援など多角的な観点から取り組みを進めているところとです。経済的支援として、就学援助を活用した学校給食費や学用品費の支援などの取り組みを進めているほか、今年度から「ひとり親家庭等大学等受験料及び模試

受験料支援事業」を開始し、家庭の事情で進学を諦めないための支援を進めております。また、学習支援では、町独自の取り組みとして、小学4年生から中学生までを対象にした「ひとり親家庭等こどもチャレンジ応援事業」を支援しております。

現在、対象児童の半数が学習塾を利用するなど、全てのこどもが学びに向き合える環境の整備に努めています。



映像はこちら



# 一般質問

一般質問はMMネットの行政チャンネルで翌日の午後8時、翌々日は午後1時から放送されています。



町野 久幸 議員

## 交流人口の拡大と「行ってみたい町」づくり

### ◎周遊滞在型観光と関係人口創出を推進

### 問

人口減少が進む中、地域の活力維持には交流人口の拡大が重要である。

観光などで訪れる人に加え、地域と継続的に関わる「関係人口」の視点も重要となっている。美浜町の観光客数や交流人口の現状、近年の動向と課題について町の認識を伺う。

### 副町長

本町の観光は、三方五湖レインボーラインや海水浴を中心に、平成2年には年間約187万人の観光客で賑わったが、その後減少し、令和元年には約93万人となった。

このため、北陸新幹線敦賀開業を見据え、観光振興を優

先施策に位置づけ、観光資源の魅力向上や創出、おもてなしの醸成など、周遊滞在型観光を柱とした施策を進めてきた。

具体的には、レインボーライン山頂公園の再整備や遊覧船の運航、サイクリングルート整備などを進めるとともに、道の駅はまびよりや観光農園の整備、宿泊施設の支援などに取り組んできた。

その結果、新幹線開業後は観光入込客数が約140万人となり、一定の効果が現れている。今後は観光を地域全体に波及させ、地域再生のエンジンとしていく。

### 観光誘客課長

町では主要観光施設やイベントの来訪者数を把握し、観光アンケートやデータ分析を活用して観光戦略を展開している。

近年は観光入込客数が回復し、新幹線開業の効果がみられる。またインバウンドについても欧米圏の割合が増加するなど変化が生じている。

一方で、関東圏での認知度が低いこと、二次交通の不足、観光エリアごとの人流の偏り、宿泊・飲食や土産物の不足による消費機会の損失などの課題がある。

今後はこれらの課題解決に向け、観光資源のPRや交通対策、体験型コンテンツの充実などを進めるとともに、

来訪者との継続的な関係づくりを意識した取り組みを進め、周遊滞在型観光と関係人口の創出を図る。

### 問

観光資源や地域資源を活かした観光振興や交流促進の取り組みについて、これまでの施策とその成果、課題について伺う。

### 観光誘客課長

三方五湖の魅力を多角的に体感できるよう、天空のテラスや遊覧船、サイクリングルートの整備を進めてきた。また、道の駅や観光農園の整備、歴史文化資源や食の活用などにより魅力の創出に取り組んできた。

さらに、インバウンド誘客に向けた営業活動や情報発信も進めている。

こうした取り組みにより、観光入込客数は目標を前倒しで達成した。今後は第2次観光振興計画に基づき、体験型コンテンツ「町旅」を推進し、周遊と滞在の促進を図るとともに、地域との関わりを深める関係人口の創出にもつなげていく。

### 問

交流人口の拡大に向けたイベントや体験型事業、関係人口の創出について町の考えを伺う。

### 観光誘客課長

観光を地域再生のエンジンと位置づけ、体験型観光やインバウンド誘客、宿泊・飲食施設の支援などを進めていく。

特に「町旅」により、地域資源を活かした体験を提供し、来訪者との継続的な関係づくりを推進することで、関係人口の創出を図る。住民主体の取り組みを通じて、地域全体で観光を支える体制づくりを進める。

### 問

SNSや動画などデジタルを活用した情報発信の強化について伺う。

### 観光誘客課長

現在、SNSやプレスリリース配信サービスを活用した情報発信を行っており、効果測定を通じて戦略的なPRに取り組んでいる。

また、インフルエンサーとの連携により、ターゲットに応じた情報発信を行っている。

今後は町民の協力も得ながら、地域全体で魅力を発信する体制づくりを進め、来訪者との継続的な関係づくりにも

つなげていく。

### 問

交流人口に関する今後の目標について伺う。

### 観光誘客課長

第2次観光振興計画では、令和17年に観光入込客数約150万人、宿泊数約6万人、観光消費額約178億円を目標としている。

### 意見

単なる人数の増加ではなく、観光消費額の拡大を通じて地域経済を牽引する「稼げる地域」への転換を目指し、周遊滞在型観光を推進していく。

交流人口の回復や観光施策の進展が見られる一方で、認知度向上や交通、受入体制などの課題も明らかとなった。今後は地域資源の魅力をさらに磨き上げるとともに、体験型観光や情報発信の強化を図り、来訪者との継続的な関わりを生み出す関係人口の創出につなげていくことが重要である。「行ってみたい町」から「ずっといたい町」へと発展する取り組みが求められる。

映像はこちら





兼田 和雄 議員

## 嶺南地域の急性期 医療体制の構築に ついて

### 問

嶺南地域には高度な急性期医療の病院がない。高度な治療のためには嶺北、あるいは京都・大阪の大きな病院に行かねばならない。苦しい症状を緩和したい。より良い病院に通いたい。

### 町長

全国的に少子高齢化・人口減少が進んでおり、その流れを食い止めるのが社会インフラで気や怪我から命を守り安心してこどもを育てられる医療環境である。昨年2月に共創会議で嶺南の急性期高度医療機器の整備や医師の育成支援が

### 問

明記され、10月に検討会を立ち上げた。これまでの地域医療の枠組みを超えた踏み込んだ議論が始まったばかりである。嶺南東部といわず広いエリアで嶺南全体の中核病院を含めた地域全体の医療体制を構築していく視点が必要では無いかと考えている。従って、嶺南エリア全体を見据えた視点での施策の具体化に向けて注力する所存である。

### 健康福祉課長

現状として地域医療が細る中、限られた医療資源を効率的に活用する手立てとして、通信機器を備えた車両で看護師が医療器具を備えて直接患者さん、あるいは施設に向き病院にいる医師がオンラインで診察を行う「医療Maas」という取り組みがあるが、美浜町では事業化は考えているのか。

### 問

現在病院では医師や看護師が不足している。そのため、病棟を閉鎖している病院もある。行政も地域医療を担う人材の育成は重要な課題である。町の医療関

### 健康福祉課長

係の人材育成に関する奨学金制度、奨励金制度のようなものはあるのか。

本町では今のところ医療関係人材を対象とした補助制度はない。しかし、県は関西電力の寄付金を活用し、嶺南地域に継続的に勤務する医師に対する奨励金支給制度や、嶺南地域の医療機関に継続的に勤務する看護職員に対し奨励金を支給する制度を令和8年度より実施すると聞いている。

### 問

## 後期高齢者全員に タクシーの初乗り 無料券の配布を

高齢者の中には家族の付き添いで通院している方が大勢います。家族だから当たり前の行為と見なされています。行けば半日、一日が潰れてしまいます。そして、その多くが女性の方が担っています。自分の仕事を休み、仕事を辞めて付き添っている人達がたくさんいるのが現状です。チャイソコなどの交通機関を利用するにも限度があります。そこで、後期高齢者の方に限りタクシーの初乗り無料券を配布してはどうかでしょう。ドアトードアで自宅から病院まで通えま

す。1人20枚として諸雑費込みで30000万円ほどです。美浜町では出せない予算ではありません。それで町内の経済は確実に回ります。家族も助かります。タクシー会社も売り上げの目途が立ちます。買い物に利用するとお店も潤います。検討をお願いします。

### 健康福祉課長

町ではデマンド交通「チャイソコ」や公共ライドシェア「美浜ブルーライン」を本格運行いたしております。さらに、社会福祉協議会が実施してきた「お出かけワゴン」や今年度から運用する「医こっカー」といった共助の仕組みも充実してきており、多様な移動ニーズを支える体制整備が進んでいるところである。

## 大規模災害を見越した復興計画と人材確保

### 問

国土交通省の自治体に向けた災害後を見据えた「事前復興まちづくり計画」を美浜町は策定しているのか。

### 防災技術統括官

事前の防災・減災対策として橋梁の定期点検、補修等の強靱化対策や上水道耐震化工事など災害は必ず来るものとして対策

### 土木建築課長

に取り組んでいる。計画策定はまだ行っていないが、事前準備は着手済みで、「検討済み」「検討段階」と公表されている県内10自治体のひとつに入っている。

### 問

復興に欠かせないのが技術系職員だと言われているが、昨今その人員が不足していると聞くが美浜町の場合はどうか。

### 土木建築課長

現在美浜町における技術系職員は11名で、通常業務において2名が不足している。募集を行っているが採用に至らない。不足を補うために設計業務や現場監督業務を委託している。大規模災害時は県や国からの派遣を受ける体制を講じている。

### 意見

技術系職員はその土地をよく理解し、実情に合った計画をしなければならぬ。それには5年から10年の経験が必要だと言われている。計画的な採用を実施し町の安全、将来の安全を認って頂きたい。

映像はこちら



# 一般質問

一般質問はMMネットの行政チャンネルで翌日の午後8時、翌々日は午後1時から放送されています。



松下 哲也 議員

**①小学校給食費が実質無償化される中、中学校給食費も無償化に向けて検討を進めて頂きたい。**  
**◎中学校給食費無償化は国の方向性を注視していきたい。**

## 問

美浜町では、令和8年4月より小学校給食費の実質無償化が実施となっており、子育て世帯の負担軽減や子育て支援の観点から大変意義のある政策です。一方で、中学校給食費については保護者負担が残る状況である。国は、公立小学校に5200円を上限とし支援すると決めている。小学校給食費が無償化されるなか、中学校給食費無償化について、今後の町の方向性や考え方に

ついて確認する。

現在美浜町では、物価高騰などの影響を受ける中で、学校給食の運営が行われていますが、中学校給食費4840円の内訳と現在の保護者負担の考え方について伺う。

## 教育長

美浜町での取り組みについて説明します。本町では他市町に先んじて、子育て支援及び教育環境の充実施策を行っている。経済的支援として、小中学校入学時に新入学生全員への制服支給や、中学校卒業生全員への祝い金の支給、高校生の通学費助成などを実施している。また教育環境の充実として、学習支援員や生活支援員の細やかな配置、町独自のスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、教育相談専門員の配置、教育支援センター「なないろ」の運営、プレミアム給食の提供、ホームステイの実施、校外学習や放課後教室など探究的な学びの充実にも取り組んでいる。

## 教育総務課長

学校給食については、施設や設備に要する経費は町の負担であり、それ以外の経費（学校給

食費）については保護者の負担である。内訳は1食当たり280円を基準としている。

また、地場産品やデザートなどを取り入れた「プレミアム給食」を実施し、子どもたちが楽しみとなる内容の充実を力を入れているため、実質1人あたり月額6300円程度である。その差額1500円程度について町が負担している。

## 問

高騰の影響があり、保護者負担が増加する可能性も考えられます。現在中学校給食費は年間約53000円であり、子育て世帯にとつて一定の負担となっていますが保護者負担をどのように考えているか。

## 教育長

学校給食法の中で給食費については保護者負担となっている。給食費無償化は各自治体での取組みに差があり地域格差が生じない為にも国の動向を注視していく。

## 問

中学校給食費を無償化した場合、年間どの程度の予算が必要になると見込んでいるか伺います。

## 教育総務課長

令和8年度の中学校生徒数が175人であり、約930万円の財源が必要となる。それに加え物価高騰分やプレミアム給食などの町負担金が約300万円あり給食全体の公費実負担は、年間約1200万円になると見込んでいる。

## 問

中学校給食費無償化に必要な予算は、町民1人当たり約1400円の規模であるが、無償化は実現可能であるか伺う。

## 教育総務課長

町では様々な子育て支援や教育支援に取り組みながら行っていく。また中学校給食費月額4840円は県内で比較しても低廉な水準であります。さらに、経費の差額を町が負担しており、実質的には一部無償化が進んでいる状況です。国において無償化の方向性が示されており、今後の動向を注視したいと考えている。

## 意見

4月から小学校給食費は無償化にあたって、地産地消の推進や栄養バランス、安全で美味しい給食の維持が大切である。国は中学校の給食費

無償化は「早期に実施」としているが、自治体の判断も重要であると考えます。子育て支援の更なる充実、子育てしやすい町を築いていくためにも中学校給食費無償化に向けた前向きな検討を求めます。



映像はこちら





あだち みき 議員  
足立 美希

## ①美浜町における 保育士の充足状 況について

**問** 保育士の離職率の高さが全国的にも深刻化している中で、現在の美浜町の保育士の充足状況や、離職の状況について町としてのどのように把握しているのか。

**こども未来課長** 現在、町内3つの保育園を運営するには50人の保育士が必要だが、正規職員は27人で、不足分を会計年度職員で補っている。近年は退職者が採用者を上回っており、新年度の正規採用試験にも応募がなかった保育士の高齢化も進んでおり、今後さらに人材確保が厳しくなるが見込まれる。

**問** 給与や、業務負担についてはどうか。

**こども未来課長** 給与は国の基準に準じており近隣市町とはほぼ同水準である。また

ICT導入やおむつ持ち帰りゼロ、子育て支援員の配置やシルバー人材センターへの清掃業務委託など、業務負担軽減に取り組んできた。

**問** 今後の処遇改善の必要性についてはどう考えているのか。

**こども未来課長** 本町としても重要な検討課題であると認識しており今後も処遇改善や業務効率化を継続していく考えである。また、広報活動や町内での保育士を目指す若者への支援として資格取得に向けた助成制度の拡充を検討することも視野に入れ、町における人材不足の問題に総合的に対応したいと考えている。

**意見** 現在の給与水準が現状に見合っているとは言いがたい、人材確保の面からも見直しが必要と考える。処遇改善は単なる待遇の問題ではなく子どもと現場を守るための投資と考え、今後も改善について検討いただきたい。

## ②保育園の民営化 について

**問** 公立3園のうち1園の民営化を検討している

ることだが、その背景と目的について伺う。

**こども未来課長** 少子化や人材確保の難しさを背景に、将来を見据えた保育園のあり方の一つとして検討している。

**問** 保護者や保育士の意見はどうか。

**こども未来課長** 保護者へのアンケートや説明会、保育士との面談を行い、意見を集めている。保護者からは子どもの安全安心な保育環境の維持に対する懸念が寄せられている。

**問** 民営化のメリット、デメリットは？

**こども未来課長** メリットには民間ならではの多様なサービス展開、財政効率化や保育士の負担軽減への期待などが挙げられる。デメリットには、地域性や公立園ならではの安定感が薄れる可能性、独自プログラムなどによる追加費用の可能性などが挙げられる。

**問** 現在の保育サービスには大変満足しているとの声も多くあるが、その後も保育の質は守られるのか。

**こども未来課長** 町として最も大切にしているのは子どもたちの安全と保育の質で

あり、仮に民営化を進めていく場合でも、質の維持・向上を前提に透明性のある方法で検討していく。

**意見** 今後は現場との議論を重ね、切実な声を反映させながら慎重かつ丁寧に検討を進めていただきたい。

## ③保育士が無理なく安心して働ける環境整備について

**問** 民営化によって人材不足の解消も期待されるという話であるが、このまま退職超過が続けば同じ問題は再発する可能性がある。人材確保についてのこれまでの取り組みを伺う。

**こども未来課長** 保育学生の保育補助の機会創出や研修助成、高校連携や情報発信などに取り組んできた。

**問** 新たな人材の確保については民営化の検討と並行して今後も更なる対策や新たな施策を求めめるが、保育の職に就いた方に無理なく安心して働き続けてもらうための環境作りについては、町として今後どのように取り

組んでいく考えであるのか伺う。

**こども未来課長** 若手から子育て世代、ベテラン層まで幅広いニーズに応えながら、ICTの更なる活用や補助員の活用等により保育業務に集中できる環境づくり、柔軟な勤務制度の検討等を進めていきたい。また、地域全体で保育を支えまち全体で次世代を育む意識を広げていきたい。

**意見** 保育士の仕事は子どもたちの命と未来を預かる尊い仕事である。笑顔で子どもと向き合うその裏で、常に安全に気を配り、多くの業務を抱えながら1日を無事に終えられるよう全力を尽くしてくださっている。町の保育士として、心にゆとりを持ち長く継続して働ける環境こそが子どもたちの健やかな成長にも繋がる。やりがいや使命感だけに頼るのではなく、処遇改善と無理のない働き方ができる環境整備を強く願う。

映像はこちら



# 一般質問

一般質問はMMネットの行政チャンネルで翌日の午後8時、翌々日は午後1時から放送されています。



議員 村上 康郎

## 「美浜町上水道ビジョン」について

①多額の財源を要する老朽化対策や耐震化のコスト抑制にどう取り組むのか。

◎アセットマネジメント計画を策定し、適時的確な更新維持管理を行うことで、コスト縮減に努める。

### 問

人口減少で給水量が減少している。設備更新時には管径やポンプ容量の最適化が電力削減にもつながる。水道料金の抑制には国の補助金活用が不可欠であり、余寿命管理や防災拠点ルート

### 上下水道課長

の優先化など、負担平準化の工夫が必要ではないか。  
令和8年度にアセットマネジメント計画を策定し、令和9年度に水道事業経営戦略を改定する。これらに基づき更新・維持管理を進め、コスト縮減と

負担の平準化を図る。  
住民目線では、財源を賢く大切に使うという信頼が不可欠。困難な取り組みだが、生活基盤の維持に引き続き注力していただきたい。

意見

②直営作業の委託化について、緊急時の即応性などの観点から町内事業者を活用すべき。

◎今後も町内事業者との連携を強化し、水道用水の安全供給に努める。

### 問

一度外部化すると長期にわたり継続する。町外委託ではなく、町内の事業拡大や創業支援、技術移転などを進め、受け皿となる事業者の体制整備を図るべきではないか。

### 町長

緊急時には地元事業者が昼夜問わず対応しており、基本的に地元業者育成の視点で事業を進めている。ただし、施設規模等から難しい場合があることも理解いただきたい。

### 意見

若者が戻れる仕事がないという声もある。町が先んじて体制整備を進め、隣接町からも受注できるような取り組みを期待する。

## 「美浜町教育振興基本計画」について

①中学校部活動の休日地域移行の初年度として想定する課題と今後の取り組みは。

◎地域クラブ支援の制度設計を進める。大きな課題である平日の移行に向け、広域連携の可能性も検討し、子どもたちの選択肢を広げていく。

### 問

地域移行は教職員の負担軽減が出发点であり、負担が地域クラブに移るだけにならないよう支援が必要。今後想定する課題や継続的な体制整備や充実化をどう進めるのか。

### 総務課長

地域クラブが継続できるような制度設計を進める。運営には保護者の会費負担もお願いするが、必要経費は町が補助する。平日の移行は指導者確保が休日以上に困難だが、健全育成や放課後の居場所づくりの観点からも全庁的取り組み、子どもたちの活動の選択肢拡大を図る。

### 意見

課題が生じた際は丁寧なフォローと迅速な

改善をお願いしたい。ダンス・軽音楽などの展開や放課後教室サンとの連携で、多様な魅力ある部活動となることを期待する。

②老人クラブ活動が縮小する中、高齢者の社会参加を促す生涯学習をどう振興するのか。

◎多様な学習機会を充実させ、新たな仲間づくりを促す。なびあす学園の会員や地域の口コミを通じ、参加を広く呼びかける。

### 問

高齢者の社会参加を促すことが、元気に年を重ねていただく上でも重要。参加しやすいカリキュラムの工夫や、口コミによる連絡網的な仕組みづくりをどう進めるのか。

### 生涯学習課長

老人クラブ連合会の会員は5年間で約4割減少している。学習機会を充実させコミュニティ形成を促す。地域ネットワークは希薄化しており、なびあす学園の会員や地域の口コミで広く周知し、多くの参加を促したい。

③電子図書館の導入について検討しているか。

◎来年度の「生涯学習推進プラン」改定に合わせ、町民の意見を把握する予定である。

### 問

電子図書館は全国で約3割が導入している。住民ニーズ、メリット・デメリット、費用対効果、導入可能性をこれまでどう検討してきたのか。

### 生涯学習課長

初期投資や更新費用が大きく、財政負担の観点から慎重な判断が必要。一方、来館困難者支援、文字拡大・音声読み上げなどの利便性、蔵書点検の負担軽減などのメリットもある。来年度のプラン改定に合わせアンケートにより町民の声を把握する予定であるが、まずは情報収集と課題整理を進める。

### 意見

県の電子図書館が先行しており、この普及促進と合わせて、町独自のさらに魅力ある図書館施策の推進を期待します。

映像はこちら





福田 新八 議員

## 農業基本計画をもとに 問う

**これからの美浜町農業**  
町の農業はこれからどうなるのか。  
担い手不足や収益性の課題に対し、計画に基づく取り組みが示されました。

### 問

農業は地域の基幹産業として多面的な役割を担っていますが、高齢化や担い手不足が進む中で、その維持が課題となっています。農業基本計画に基づく町の現状認識と担い手確保についてどのように考えていますか。

### 町長

農業は食料の安定供給だけでなく、自然環境や農村景観の維持、防災、水資源の保全など、多面的な機能を果たす町の基盤です。こうした重要性を踏まえ、第3次農業基本計画に基づき、地域の実情に応じた施策を計画的に進めています。特に人材育成拠点施設の整備や、施設園芸への支援を行ってきた結果、この6年間で新たに8名が就農し、園芸分野

を中心に生産体制の強化が進んでいます。水田単作中心から複合農業への転換も進みつつあり、今後も持続可能な農業の確立に向けて取り組みを進めていきます。

一方、農業従事者の高齢化や労働力不足は依然として大きな課題です。新規就農者の確保は進んでいるものの、認定農業者の減少が続いており、全体として担い手は不足しています。そのため、

今後は専業農家だけでなく、兼業農家や半農半Xといった多様な関わり方を含めた人材確保が必要と考えています。農業人材育成拠点施設の機能強化に加え、県の園芸カレッジとの連携により、就農希望者の育成から地域定着までを一体的に支援していきます。

担い手確保に向けた取り組みは進められていますが、就農までの環境や初期投資の負担が課題とされます。新規就農者を増やすための具体的な支援策はどのようなものですか。

町では農業基本計画に基づくアクションプランにより、新規就農者に対する支援を体系的に行っています。具体的には、施設や農業機械の整備に対する補助、就農初期の収入を支える給付金制度を実施しており、国の制度に町独自の

上乗せ支援を加えることで、経営の立ち上げを後押ししています。また、経営継承を円滑に進

めるための支援や、農業機械の更新・導入支援、さらには販路開拓や商品開発といった経営面の支援も行っています。単に就農させるだけでなく、就農後に安定した経営を継続できるように、段階的かつ継続的な支援体制を整えている点特徴です。

園芸作物の振興が進む中、今後は販売力や付加価値の向上が重要になると考えます。農業所得向上に向けた取り組みの方向性は、

農業を持続的に発展させるためには、生産だけでなく消費を意識した取り組みが不可欠です。「作ったものが売れる」仕組みを構築することが重要であり、観光政策との連携や地域資源の活用によつて需要を喚起していく考えです。町外への販路拡大も含め、農産物の魅力を直接消費者に届ける取り組みを強化し、付加価値の向上を図ります。

これまで施設園芸の推進により、園芸作物の販売額は約10倍に増加するなど成果が出ています。今後はこの基盤をさらに強化し、人材育成と生産拡大を進めるとともに、販売面の強化に取り組みます。特に園芸カレッジとの連携による人材確保や技術力向上を通じて、安定した生産と収益確保につなげていきます。

農産物の単価向上にはブランド化や販路拡大が重要ですが、今後どのように取

り組みますか。  
町ではレモンやくぼ丸ナスなどの特産品について、地域ぐるみでのブランド化を進めています。レモンについては植栽拡大と加工品開発が進み、産地化に向けた取り組みが進んでいます。また、ふるさと納税の返礼品としての活用や企業との連携により、町外への販路拡大も進んでいます。今後は地産地消を基本としながら、都市部への発信や観光との連携を強化し、美浜町の農産物の認知度と価値を高めていきます。

農業を持続可能な産業とするため、所得向上に向けた具体的な取り組みは、農業所得の向上については、これまでの支援により販売額の増加など一定の成果が見られますが、さらなる向上には経営規模の拡大と作業の効率化が必要です。そのため、スマート農業の導入による省力化や、大規模経営の推進に取り組んでいます。計画では、主たる従事者1人当たり400〜500万円の所得を目標としており、その実現に向けて引き続き支援策を講じていきます。

農地の維持・保全について、どのような対策を講じていますか。  
農地は生産の場であると同時に、景観や防災機能を支える重要な資源で

す。町では中山間地域等直接支払や多面的機能支払を活用し、地域ぐるみで農地を守る活動を支援しています。また、農業機械の導入支援や草刈り作業の負担軽減策を講じることで、農業者の労力軽減にも取り組んでいます。さらに農地パトロールを通じて耕作放棄地の発生防止と担い手への集積を進め、農地の有効活用を図っています。

農業基本計画を踏まえ、10年後の農業の姿をどのように描いていますか。  
町では「生きがいづくり・むらづくり農業」と「強い農業・儲ける農業」の両立を基本理念としています。地域と行政が連携し、農地や景観を守りながら、園芸を中心とした複合農業を発展させることで、持続可能な農業と地域社会の維持を目指します。農業を地域全体で支える仕組みを構築し、次世代へつなげていくことが重要であると考えています。

美浜町農業の現状と将来像が示されました。

担い手不足や収益性の課題に対応しながら、地域を守りつつ稼げる農業へ転換していくことが、これからの重要なテーマです。

映像はこちら



よろしくお願いします!

# 第19期 議員紹介

議員さんに質問です! /

## 好きな美浜の風景は?



ふくだ しんや  
② 福田 新八 (1期)

はまびよりの屋上から見る  
若狭湾と田園風景



あだち みき  
① 足立 美希 (1期)

耳川の thượngと新庄の水路



うえむら やすろう  
⑥ 上村 康郎 (1期)

ぼつんと平地に佇む洪水山の姿



たなべ ふみひろ  
⑤ 田辺 文宏 (1期)

耳川橋の上から見る  
耳川と天王山



かわばた めぐみ  
④ 川畑 恵美 (1期)

宮代・参道入り口に建つ  
鳥居近辺を舞う蛭が神秘的



まつした てつや  
③ 松下 哲也 (1期)

久々子海岸から望む水平線



かねだ かずお  
⑩ 兼田 和雄 (2期)

国吉城連郭式曲輪群  
2郭よりの若狭湾の眺め



さいかう ゆうま  
⑨ 幸丈 佑馬 (2期)

家族で畑仕事をしている光景



まちの ひさゆき  
⑧ 町野 久幸 (1期)

佐田交差点からの景色



ふじた のりひろ  
⑦ 藤田 憲弘 (1期)

佐田海岸の夕日



たけなか よしひろ  
⑭ 竹仲 良廣 (7期)

レインボーライン山頂から  
望む梅丈岳の山桜



さかもと りょうえい  
⑬ 崎元 良栄 (6期)

小倉山山頂公園からの景色



うめづ たかひさ  
⑫ 梅津 隆久 (4期)

水晶浜から見た夕日が  
水平線に沈む瞬間の風景



なかむら はるこ  
⑪ 中牟田 春子 (2期)

レインボーライン山頂公園  
から望む三方五湖

### 編集後記



2026年3月、第19期美浜町議会がスタートしました。町民の皆様の熱意を受け、8人の新人を迎えた14人の新たな顔ぶれで町政に向き合っています。今期からは議員報酬の引き上げや政務活動費の交付が施行され、議員一人ひとりの責任の重さ、そして町政への期待の高まりを感じております。議会広報委員会も、幅広い世代が揃った新体制となります。本号より、町政をより身近に感じていただけるよう、町民目線で分かりやすい誌面づくりを心掛けて発信してまいります。皆様からのご意見・ご感想を心よりお待ちしております。

(川畑 記)

### 美浜町議会広報特別委員会

- 【委員長】 川畑 恵美
- 【副委員長】 福田 新八
- 【委員】 兼田 和雄・幸丈 佑馬  
町野 久幸・藤田 憲弘  
上村 康郎